

戦争法廃止 全国で署名1200万人突破 参院選挙が迫るなか6月30日まで継続

5月19日に国会に署名提出行動を行い、7月の参院選が迫るなか、6月いっぱい署名を続けると提起されました。藤島九条の会連絡会ではこのほど、藤島駅の駅頭で下校する高校生にも呼び掛け、「戦争法は知っている。戦争は反対だから署名する」と応える生徒が多く、58筆が集まりました。会では戦争法廃止に向けて引き続き署名をお願いします。



5月3日憲法記念日の「憲法集会」が東京都内（江東区）で開かれ、戦争法廃止を求め2000万人を突破したことが報告されました。

長沼小学校の統廃合 保護者説明会を開催

長沼小学校の統廃合について、市教育委員会の保護者説明会が8日、長沼地区活動センターで開かれました。

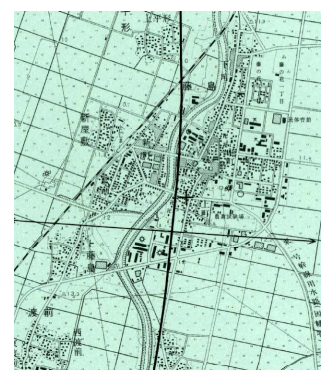


市側から小細澤充・教育部長と佐藤嘉男・学区再編対策室長、本間光夫・藤島庁舎総務企画課長の3人が出席しました。

長沼地区自治振興会長の板垣久喜氏が、「藤島地域全体を考えた学区再編が望ましい」と述べました。



第25回ふじの花まつりふじの花盆栽展会場。恒例のふじの盆栽展が8日まで藤島体育館屋内運動場で100鉢以上集められ展示されました。7日の「藤島の宴」で音楽と酒を楽しみ、大坂に帰る途上の若いカップル（写真左）も立ち寄っていました。



藤島川沿いに活断層 M7・6
県は9日、活断層の近隣にある県有施設6箇所を公表。庄内では県立庄内農業高校です。澤祥・鶴岡工専教授は、庄内平野東縁断層帯（遊佐町・添川・南北延長約38km）の南端が、従来より7・8に及びて藤島川沿いを経て松ヶ岡、田代まで至り（上図）、地震規模もM7・6と大きく防災面の見直しが必要だと述べています。

私の昭和 28

鈴木重雄（88歳・八色木）

空爆

昭和20年7月14日、米軍艦隊が岩手県釜石市を艦砲射撃し、その音がドドドーンと家の窓ガラス戸に響くのであった。

窓ガラスにはX型に紙を張り破損を防いでいるが揺れる程響く。釜石は太平洋側であるから私には想像もつかない遠距離であるが、そこに打ち込まれている砲弾の音が日本海側の八色木まで響いてきたというその驚きと共に、それは米軍の力の大きさを思い知らされた。

8月10日には米国艦隊グラマン機が酒田村内には悲痛な気持ちで漂っていた。釜石には日本有数の製鉄所があったからである。

この空爆で酒田、湯野浜住民の死者は16人、行方不明14人、負傷者33人が犠牲となった（酒田市の歴史より）。

これが終戦5日前と語っていました。大規模校から編入してきた保護者は、「せっかく小規模校に来たのに、出来れば長沼小を卒業させたい。複式学級の何が悪いのかわからない」と発言していました。

藤小の1年生は28人×2クラスの56人、長沼小の7人が加わっても2クラスは変わらず、学力格差や落ちこぼれが大きな心配です。歩いて通え一人一人がしっかり育つ小規模校こそ理想の学校です。

「戦争法廃止を求め統一署名」藤島で1882筆（5月10日）
ご協力に心から感謝します。署名は5月19日に国会に提出。さらに6月末まで継続。

昭和も遠く⑨

中町 成澤 功 脇に本格的な

グライダー



昭和18年、戦争協力の目的で学校はグライダーを購入した。

18年9月20日の航空記念日に滑空場開場式を挙行。滑空と言っても1位位しか上昇せず、飛行距離はグラウンド内への着陸のため東南から西北着地点までせいぜい200位位だったろうか。操縦指導者はH先生。

カーキ色の戦闘帽と制服。生徒ばかりでなく校長を始め多くの教員は同色の服。特に校長は国民服に赤色の長靴で冬には将校マンントの姿で通勤していた。この頃から生徒の勤労作業が際立って多くなった。

校庭の整地、学校農園、学校林の手入れ、赤川河畔から石材運搬、石垣積み、芝草移植、援農作業、五十川炭鉱の土砂運搬、木材伐採、原木運搬、製炭作業など

どがあつた。

校庭の裏門脇に本格的な炭焼き小屋を建てた。冬の暖を取るためだけでなく、魚をあぶったり、茶飲みのお湯を沸かしたりの目的もあつたのかも知れない。

黄金村の山に登り雑木を伐り倒して一定期間乾燥させた原木を肩に担ぎ易いように2位弱の長さに切り刻み、肩に担いで金峯街道を一路鶴岡へ向かった。この作業を何回繰り返したのだろうか。

学校の四囲に石垣を構築するための石材を集めるため赤川河畔にも通った。石材を袋に詰め、「大黒様」よろしく背負いながら学校に戻つたのである。

学校のグラウンドでは好天の日、グライダーの飛行訓練が行われていた。

操縦桿を握るのはH先生。グライダーの胴体にロープをかけ引く張るのは生徒達。グライダーの後ろの部分で留め具を掴んでいるのも生徒。日常茶飯の風景である。

進む野党・国民共同の力と 広がる野党統一候補

— 21選挙区(32選挙区中)に —

— しんぶん赤旗を読んで 青山崇

池田氏健闘「大きな一歩」

共同の力 自公を追い込む



北海道5区補選 共同の力 自公を追い込む

ところがこの日は違った。ロープが一定の距離まで進むと後部の留め具を外さねばならないが、この日は外れないのだ。ゴムロープはずんずんぐんぐん前進する。伸びきったロープのままの状態で離陸すればグライダーはグラウンドをはるかに飛び越えてどこまで翔けて行くかわかつたもんじゃやない。H先生の悲鳴がグラウンド中に響き渡つた。『離せい、早く離せい!』

戦中、多くの中学校に軍事教官が常駐していた。現役の土屋中尉がいた。青森県出身と聞いていたが、軍人にしてはあまり威張らない人だった。

鶴岡での下宿先は駅前のH先生の自宅だ。おとなしい土屋中尉に代わつて生徒達に威張り散らしたのがこのH先生だった。そんなH先生に対する生徒達の鬱憤晴らしがこの日の行動だった。

このハプニングは昭和20年と記憶する。学校の公式文書には記載されていない。

る(朝日)と池田氏の健闘を称え、しんぶん赤旗26日付も「共同の力自公を追い込む」としている。

この縁の下の力は、戦争法廃止署名1200万人突破(5月3日現在)や3日の憲法記念日に開かれた「安倍改憲許すな 戦争法廃止憲法東京集会」に5万人、そこには、岡田・志位・吉田・小沢の4野党党首が勢ぞろいし、野党と国民の共同の姿が見られた。そして、こ



やっぱりな

報道を見ながら「やっぱり」なんて思うこと多かったのだ。それは九州の地震にオスプレイを使ったことです。

▲アメリカから手伝いたいと出られたのなら断れないだろうナとは思つたんですヨ。ところがだ。やっぱり日本からオスプレイを頼んだのだつたぜ。政府はなぜウソをつくんだ。とんでもない政府だぜ。

▲いつ何のために買ったか、おんなじ仕事が出来るヘリコプターが70機もあつたんです。だから腹黒いんだヨ。政府は、困つたら米國は助けてくれるんだ。オスプレイを嫌うなど言いたいんですが。大

災難を利用するとんでもない謀略政権だヨ。▲いつまで続くか分からないこの地震。お風呂に入って暖かい物を食べられる人が、少し

のような運動は、連日切れ目なく、全国で展開されている。

5月6日現在、次の21選挙区で野党統一候補が実現させた。

青森、宮城、秋田、山形、福島、栃木、群馬、新潟、長野、山梨、石川、福井、滋賀、岡山、鳥取・島根、山口、徳島・高知、長崎、宮崎、熊本、沖縄の各選挙区である。

憲法変えずに 変えるのは安倍暴走政治!

つつ増えてはいるようですが、本当にご苦労なことです。こんな時「緊急事態条項」を言い出す官房長官の頭は、日本人として許されま

すか。全く油断も隙も見せてはならない恐ろしい内閣というもの。これが自公内閣の本性なんですゾ。みなさん、▲登山家野口さんが、ゆつくり手と足が伸ばされるようにと TENT を提供したんだぜ。こんなことは政府の仕事ですぐにでも出来る事

でしょ。緊急事態条項ナンテ馬鹿コゲデネ。▲これも「やっぱり」だった。国内にお金の置き所がない大金持ちが、税金のかからないタククスヘイブンとかにシコタマ隠しておいたのが分かつたのだ。

▲税金だけで2〜3兆円になるだろうと言われているが、これを調査する気が無いと言うんだヨ。許されないぜ。(石川)

しんぶん赤旗2016年4月26日付